



経済財政の中期展望

菅直人副総理の発言が、大きな注目を集めつつある。菅副総理は、「経済財政の中期展望を予算審議が終わった頃に公表する」と述べたのである。たまたまこの発言は、成長戦略策定のためのヒヤリングに私自身が呼ばれた際に、発言したものだ。翌日の新聞は、このことを全く報道していない。しかし政策関係者、市場関係者の間に、これがもつ重大な意味が理解されつつある。

2001年の中央省庁改革で、政策の決定過程は大きく変わった。この年の4月に小泉内閣が発足したので、結果的に小泉内閣以降の政策過程が変わることになった。とりわけ予算編成に関して、経済財政諮問会議が重要な役割を果たした。いくつかのものがあるが、その一つが、単年度の予算編成に合わせて、中期的な経済と財政の整合的な展望を毎年1月に示すようになったことだ。1月末から国会で予算の審議が始まるから、その前に、中期の姿を示すようになったのだ。

米国では以前から、年初に予算教書が発表されるときにこのような中期見通しが示されていた。しかし2001年以前は、日本でそのような仕組みは無かった。考えてみれば、中期の見通しを示すのは当然のことだ。政府はいったいどのような中期の姿を想定して今年の予算を組んでいるのか、説明する責任があるだろう。より具体的に、政府は多額の国債を発行せざるをえないが、その際、国債の購入者に対し、中期の経済財政の姿を示す必要がある。会社が社債を発行するにあたっては、当然将来にわ

たつての売り上げと利益の予想を示さなければならない。それと同様の責任が、国債を発行する政府にもある。

しかし菅副総理は、急な政権交代で時間が無いので、中期展望は予算審議の前(1月中)には出せない、予算が成立してから示す、と述べたのである。私自身はその場で、それでは野党も予算審議に応じられないのではないかと、情報開示の大幅な後退で森内閣以前に逆戻りではないか、という懸念を述べたが議論は平行線だった。

中期展望の作成そのものの作業は、決して多くの時間を要するものではない。おそらく、2~3週間もあれば可能であろう。問題は、その際に説得的なシナリオが描けるかどうかである。経済はデフレが続き、成長戦略の決定版はない…。事業仕分けで一部のムダを削っても、子ども手当を実施したり、また党の要求で公共事業や地方の手当てを増額しなければならない…。つまり歳出削減はなかなかできず、当面の赤字は明らかに拡大する。一方で消費税の引き上げは、今後4年間絶対に行わないことを公約している。そう考えると、中期的に経済が成長し財政もやがて健全化に向う、というシナリオは容易に作れそうもないのである。

今後、どのような展開が考えられるだろうか。まず国会審議において、野党である自民党は、これでは審議は行なえない、と審議を拒否するだろう。民主党が数に任せて強硬な国会運営に出ても、やはり混乱は避けられない。より重要なのは、市場の反

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2009 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com



応である。将来にわたっての説得的なシナリオを政府が示さない(示せない)ことが明らかになると、国債の金利上昇、価格下落、という最悪のシナリオになりかねない。経済政策の司令塔がないまま100日を過ごしてきた民主党政権は、大きな正念場を迎えることになる。

加えて残念なのは、このような菅副総理の重大発言を、どのメディアも伝えていないことだ。早稲田大学教授・田勢康弘氏は、かつて「政治ジャーナリズムの罪と罰」のなかで、記者は結局記者クラブの中で政府から教育を受ける、と述べたことがある。政府が劣化することによって、記者も劣化している…。このことが、今の日本の最大の懸念かも知れない。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2009 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com